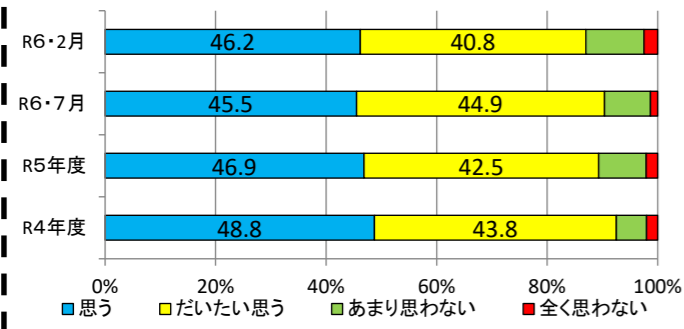


令和6年度 学校評価結果のまとめ

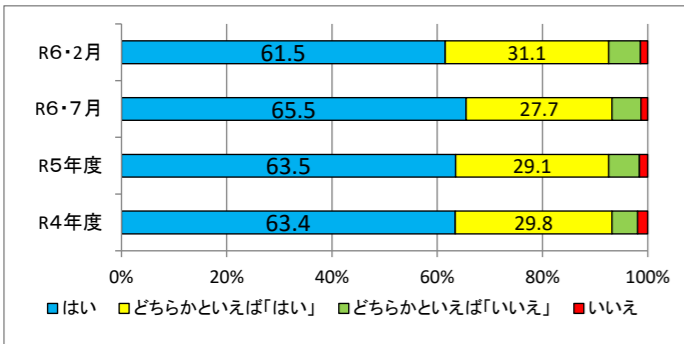
保護者の皆さんからいただいたアンケート結果です。

指標「学校が楽しい」について

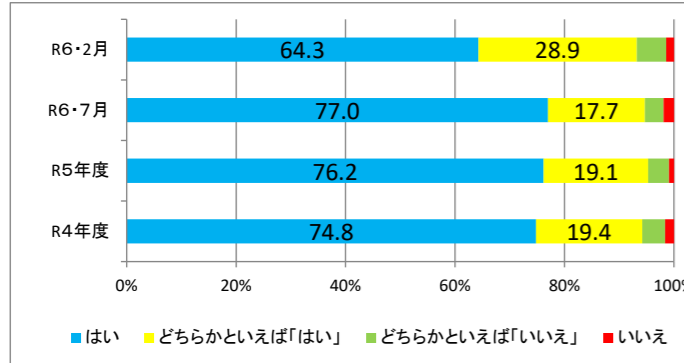
保護者 13 子どもは学校が楽しいと言っている



児童 1 学校は楽しい



児童 4 学校行事やペア集会は楽しい



「子どもは本を読んでいる」また、児童自身の回答による「本を読んだ」の項目でどちらもポイントを下げる結果となった。デジタル化が進み、タブレットやスマートフォンを手にする機会が多くなったことの影響を少なからず受けているように感じる。デジタルの便利さを活用しながらも、本を読む機会を意図的に設け、読書に親しむことも大切にしていきたい。学校では、丹南タイムを利用して読書の時間を確保したり、読書週間を設けたりして、積極的に本に親しむ機会を設けている。今後も様々な取り組みを通して、児童が本に触れる機会を設けていきたい。

漢字チャレンジや計算チャレンジについては、丹陽中学校連区全体で同じ問題に取り組み、基礎学力の定着を目指している。本校の児童もそれぞれの週間が始まると、合格点を目指して意欲的に取り組んでいる。また、家庭での声掛けも児童3の大きな励みとなっている。

(保護者アンケート・児童アンケートから)

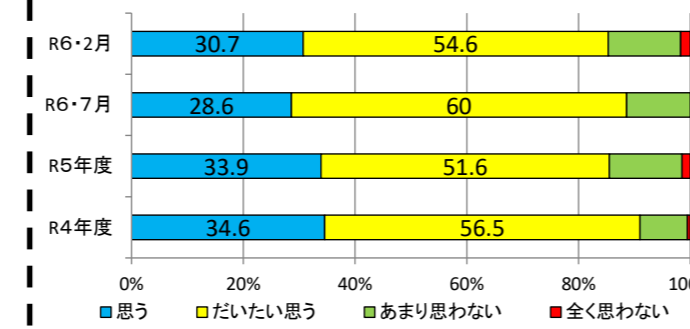
児童のアンケート結果です。

今年度7月に実施したものと、過去の年度末に実施したものをグラフに表しました。

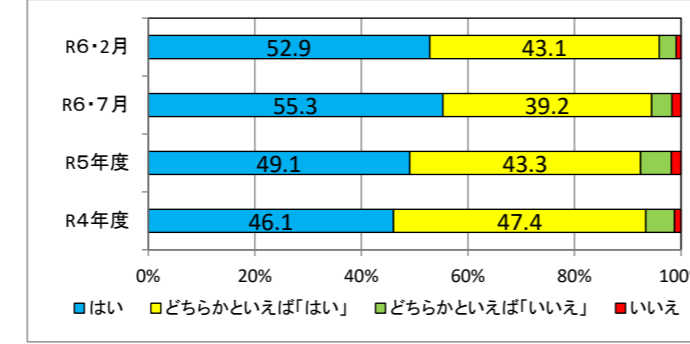
確かな学力の育成について

指標「授業がわかる」について

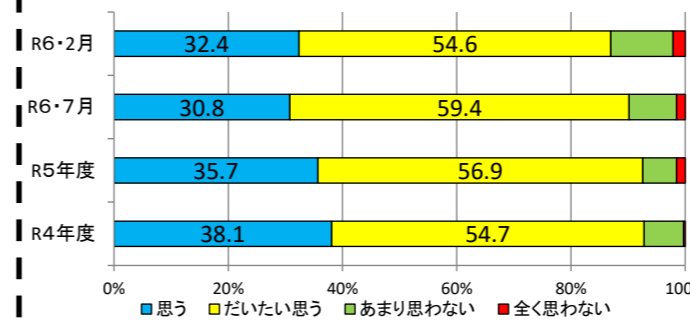
保護者 14 子どもは授業がわかると言っている



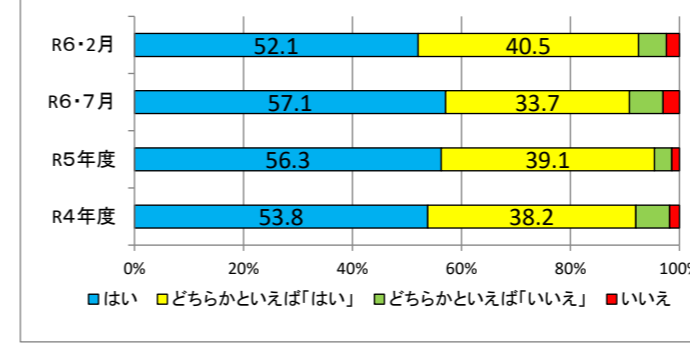
児童 2 学校の授業がわかる



保護者 8 課題の量は適切である



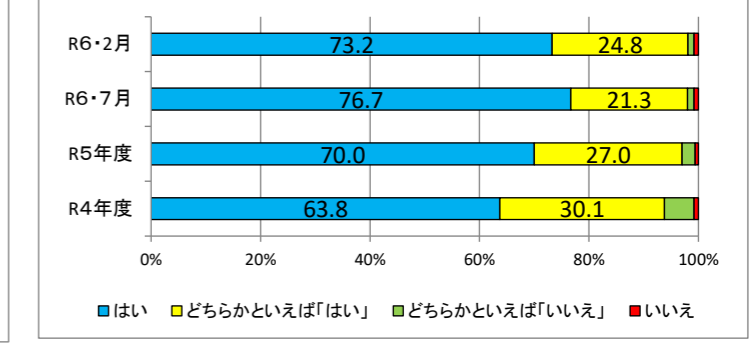
児童 15 国語の授業はわかる



「学校は楽しい」について、児童・保護者ともに大きな変化はなかったが、より多くの児童が心から「学校が楽しい」と思えるような学校づくりをしていきたい。学校活動や日常生活での感染症対策による制限もなく、様々な活動ができるようになった。体験活動や異学年交流、地域の方々との交流を通して、子どもたちがのびのびと安全で安心して学校生活送れるよう、教育活動を進めていきたい。

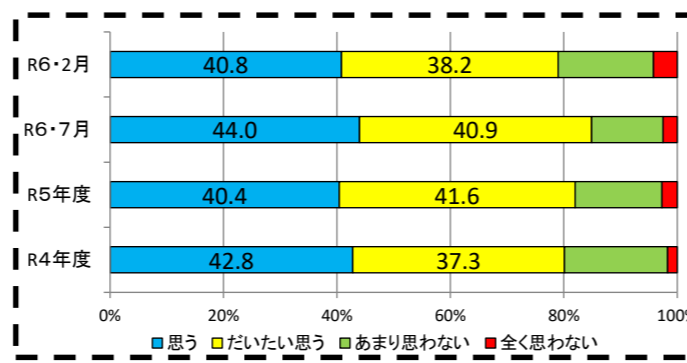
学校の授業については、「学校の授業が分かる」「国語の授業が分かる」という内容に対し、どちらも「はい」「どちらかといえば『はい』』と回答した児童の合計が、高いポイントになっている。学校全体で取り組んでいる現職教育活動で、国語の授業を核とし、考えを伝え合う場で自分の言葉で説明したり、思考を深めたりする機会を多く取り入れるようにしている。また、児童が疑問をもち、アウトプットする機会を授業の中で意図的に設け、子どもたちの問いを生かした授業づくりにも取り組んでいる。今後も児童が意欲的に参加する授業を展開していきたい。

児童 3 先生の話や友だちの発表を聞くことができる

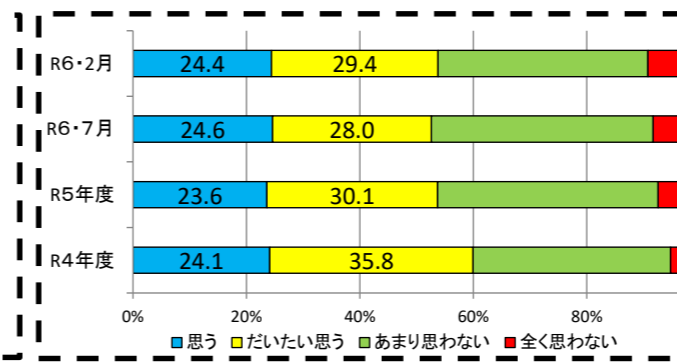


指標「音読に取り組んでいる」「漢字・計算チャレンジに取り組んでいる」について

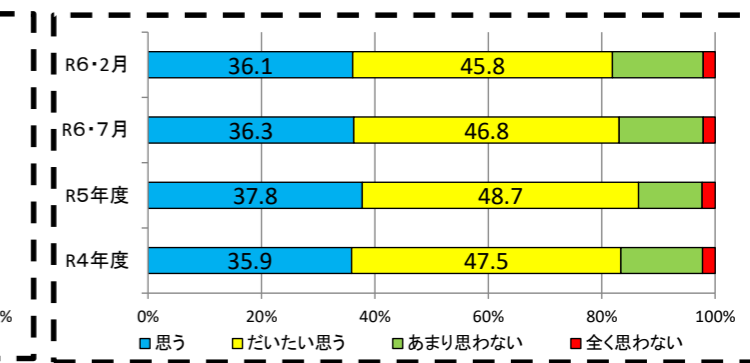
保護者 15 子どもは音読に取り組んでいる



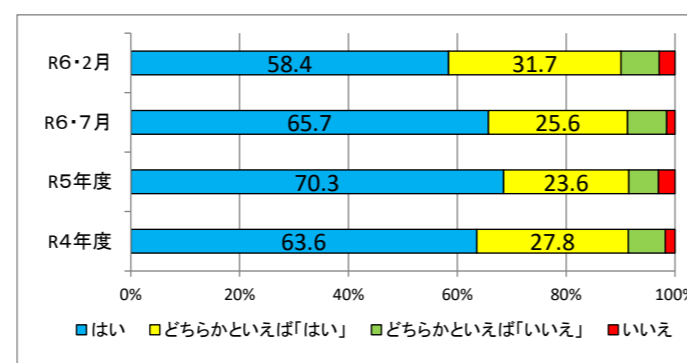
保護者 16 子どもは本を読んでいる



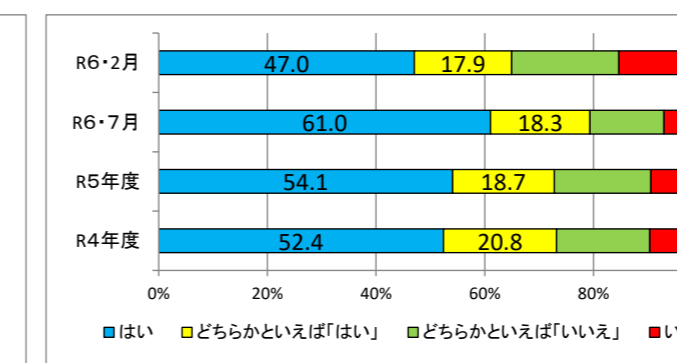
保護者 23 子どもは漢字・計算チャレンジに取り組んでいる



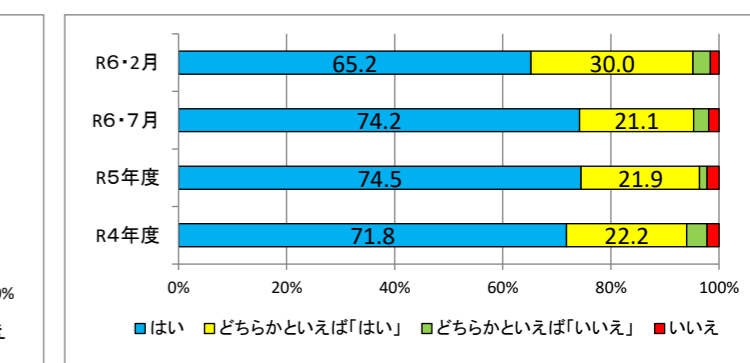
児童 17 音読に取り組んだ



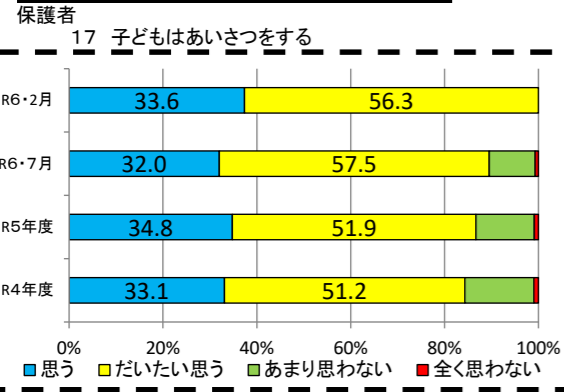
児童 18 本を読んだ



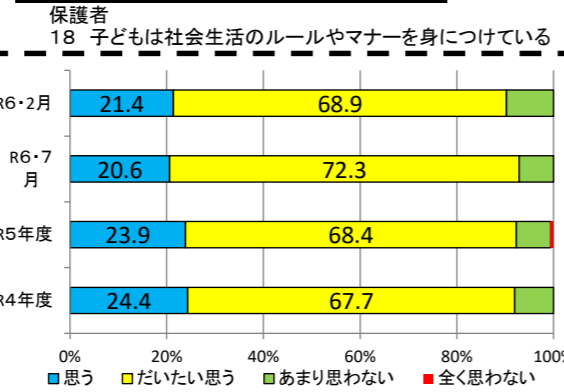
児童 16 漢字・計算チャレンジに取り組んだ



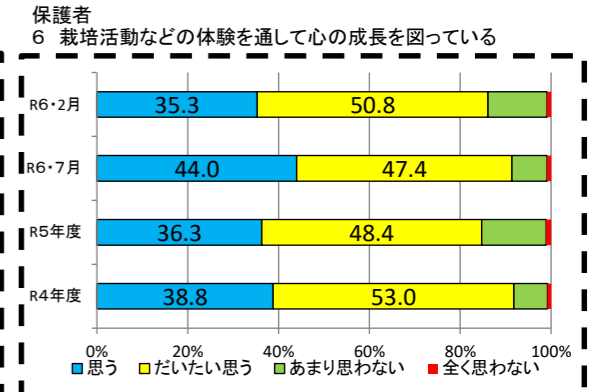
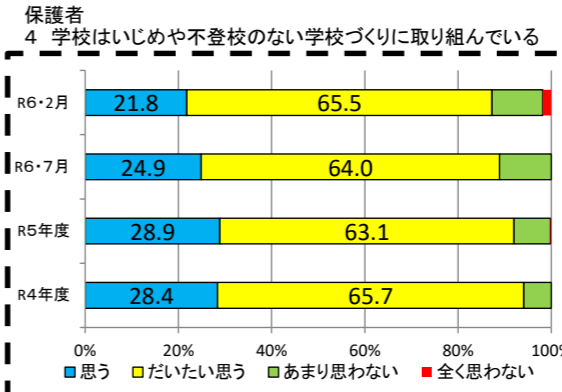
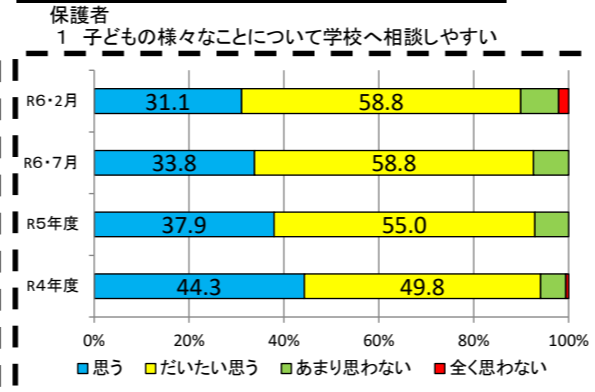
豊かな心の育成について
指標「あいさつをしている」について



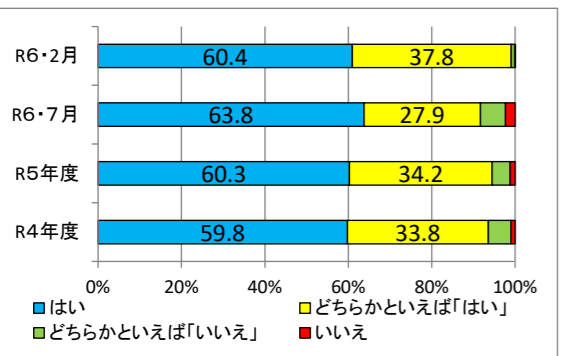
指標「きまりを守っている」について



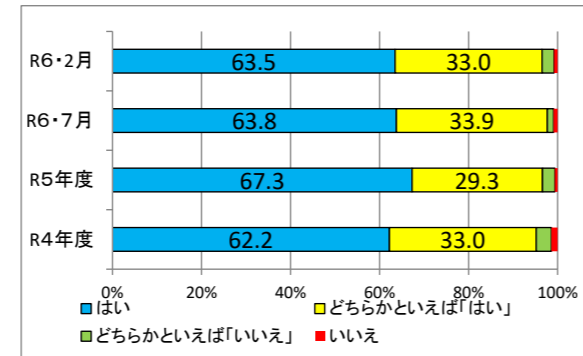
指標「いじめのない学校づくり」について



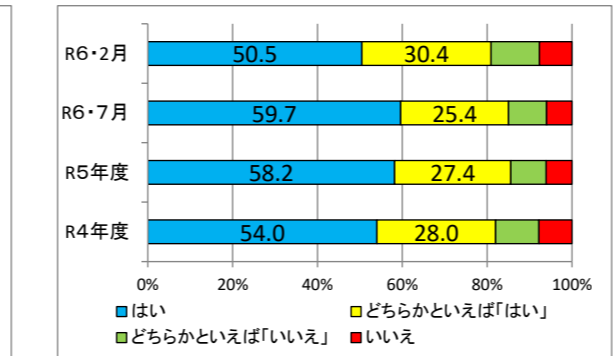
児童 10 家の人、先生や友達、地域の人にあいさつをしている



児童 11 学校のきまりを守っている



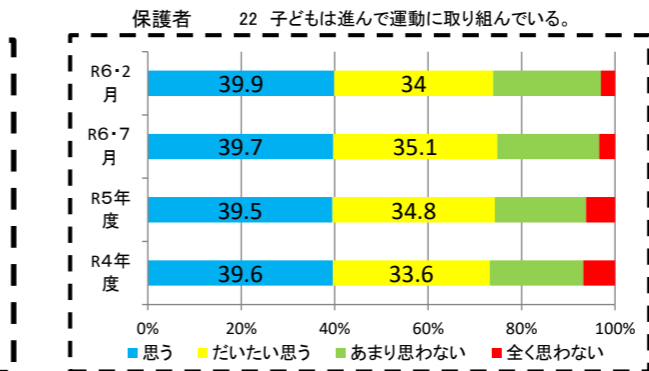
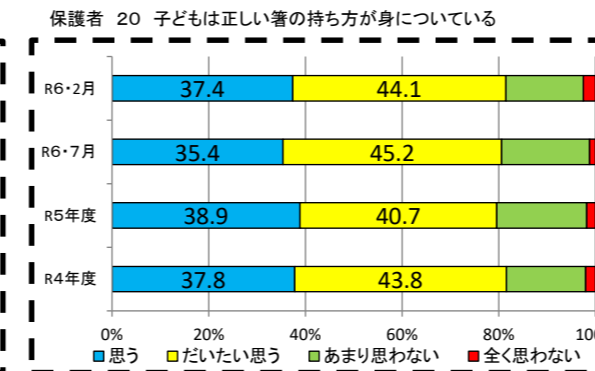
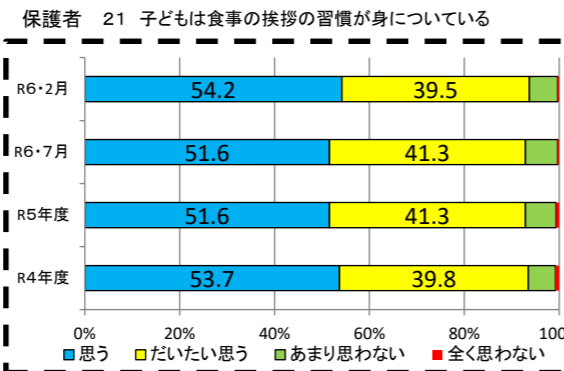
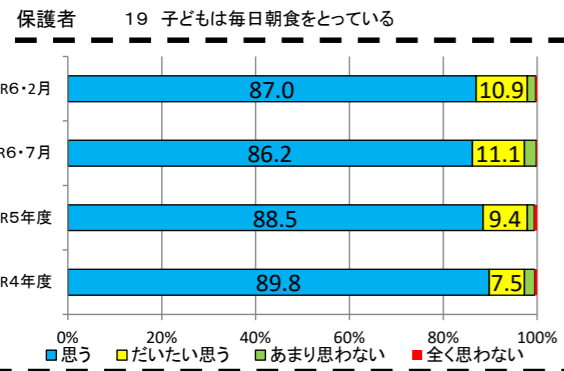
児童 12 悩みなどを相談できる先生がいる



「あいさつをしている」について、保護者も児童も100%に近い割合で、良い回答が得られた。通学途中や校内でのあいさつ等も積極的に行えるようになってきたと感じる。また、代表委員による「あいさつ運動」やPTAの協力を得て行っている「あいさつデー」等も子どもたちが意識を高めるきっかけとして大きな役割を果たしている。今後も様々な取り組みを交えながら全校であいさつすることを習慣化して、活気あふれる学校生活が送れるようにしていきたい。一方、「いじめや不登校のない学校づくり」については、ポイントを下げるようになった。毎月のアンケートや児童の見守りを通して、児童の変化を見逃さないようにしているが、今後さらに見守りを強化して、児童が安心して登校できる学校を目指していきたい。

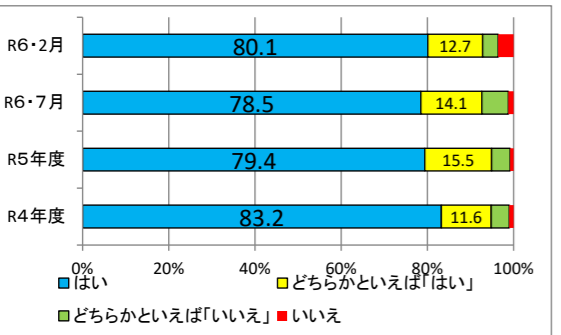


健やかなからだの育成について
指標「朝食を食べている」などについて

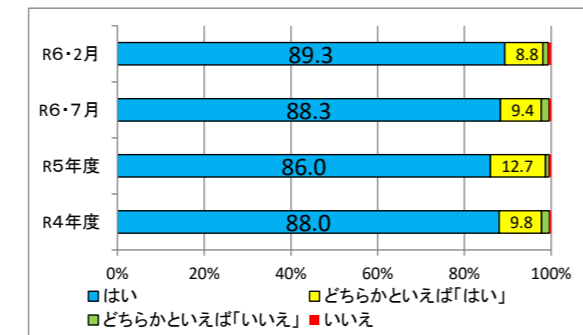


「子どもは進んで運動に取り組んでいる」について、今年度はポイントを上げることができた。コロナ禍が明け、制限なく運動したり、遊んだりすることができるようになり、休み時間に運動場に出てボール遊びやおにごっこをする児童も多い。子どもの体力低下が問題視されているが、積極的に体を動かし、子どもたちの体力の増進を目指し、元気で活発に過ごせるようにしていきたい。

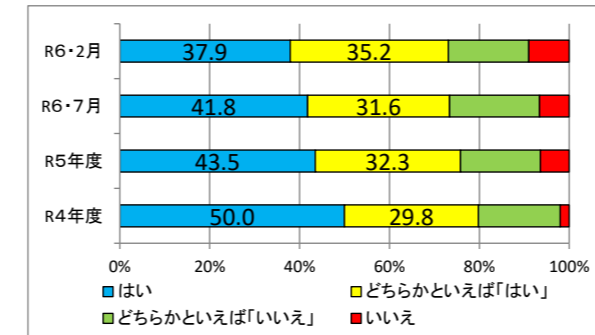
児童 5 朝食を毎日食べている



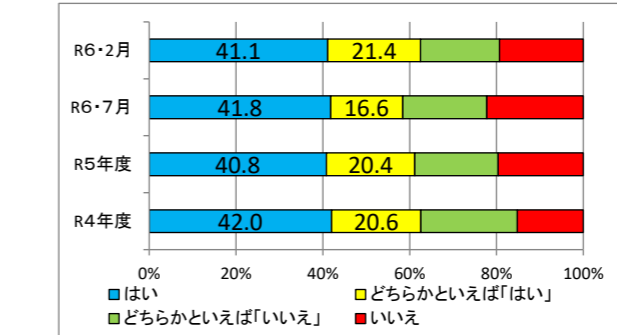
児童 7 「いただきます」「ごちそうさま」が言える



児童 6 給食を残さず食べている



児童 9 放課は外で遊ぶ

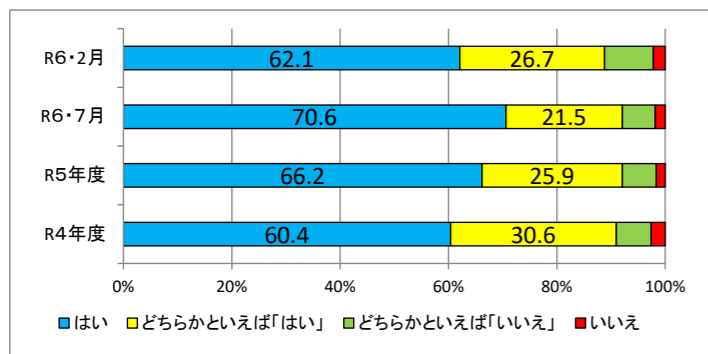


「給食を残さず食べている」について、ポイントを下げるようになった。給食の様子を見ていると、どの子も給食の時間を楽しみにしているが、メニューによって少し偏りがある。カレーライスやビビンバ等、白米と一緒に食べられるものや混ぜご飯等は、食べ残しが少ない。食育の観点から、白米、おかず、汁物と順序よく食べることを意識して、給食の残飯量を減らしていきたい。

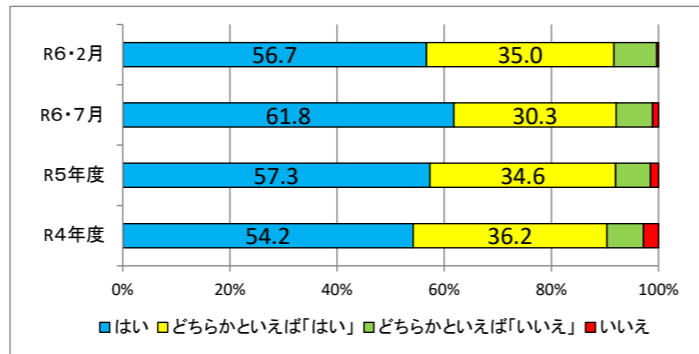
未来に生きる力の育成について

指標「英語の授業は楽しいなどについて

児童 19 英語の授業は楽しい



児童 9 節水や節電に心がけている



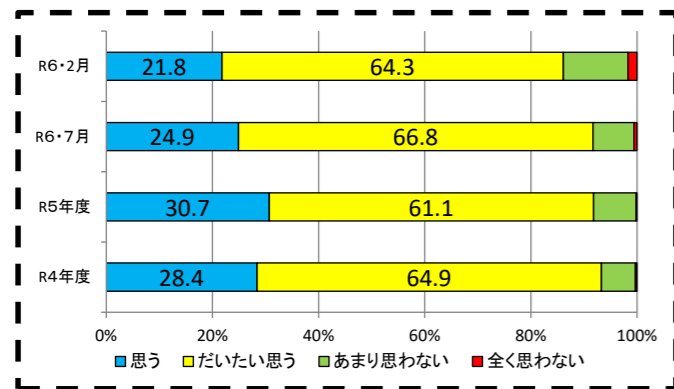
「節水や節電に心がけている」については、良い結果が得られた。1月に行った学習発表会で、SDGsについて、発表を行った学年もあり、校内で積極的に声掛けを行う姿も見られた。今回の結果は、そんな取り組みも大きく影響していると感じる。子どもたちにとって、学習したことが日常生活と結び付き、さらには、結果として表れたことは大きな喜びである。これからも、意識を緩めることなく限りある資源を大切にしていきたい。

「地震や家事がおきたときにどうするかを知っている」については、例年とほとんど変わらない結果であった。月に1度行っている避難訓練では、授業中や休み時間、掃除の時間等様々な場面を想定して行っている。児童は、どの場面であっても訓練の経験を生かし、すみやかに自分の身を守るための避難の態勢を取ることができている。災害が起こることは、予測不可能であるため、どんな場面においても安全に避難できるようこれからも定期的に訓練を行ってきたい。

「学校は、一人一人を大切にされた教育活動を行っている」「教職員は子どものよい点や努力したところを評価している」「教職員は子どもをよく理解している」については、ポイントを下げることとなった。子どもたち一人一人と向き合い、子どもたちが自信をもって学校生活を送れるよう、自己肯定感を高めることのできる声掛けを積極的に行っていききたい。また、子どもたちの日々の成長を家庭とともに共有し、その喜びを子どもたちに伝えていきたい。

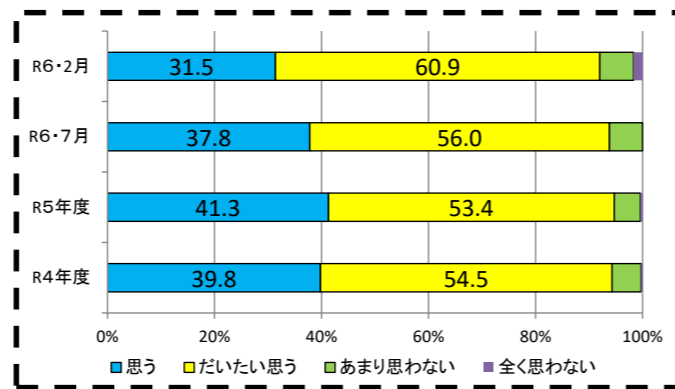
信頼される学校づくりについて

保護者 5 学校は一人一人を大切にされた教育活動を進めている

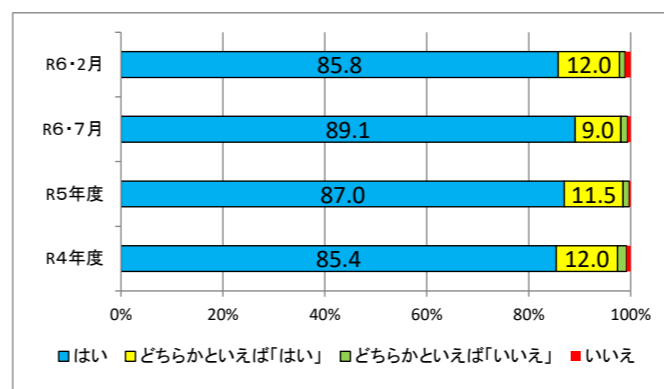


指標「安全対策を適切に行っている」「知らない人に声をかけられたときにどうするか知っている」などについて

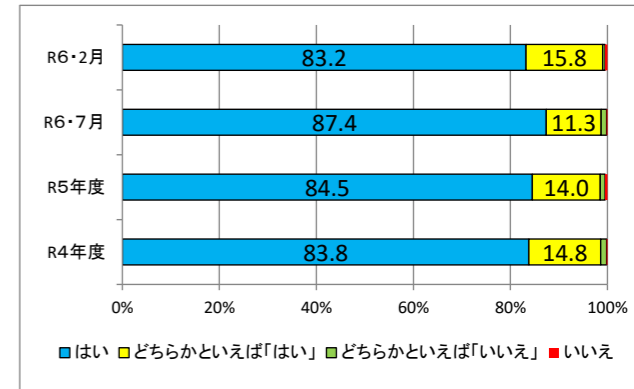
保護者 9 不審者対策や緊急時の連絡等安全対策を適切に行っている



児童 13 知らない人に声をかけられたときにどうするかを知っている

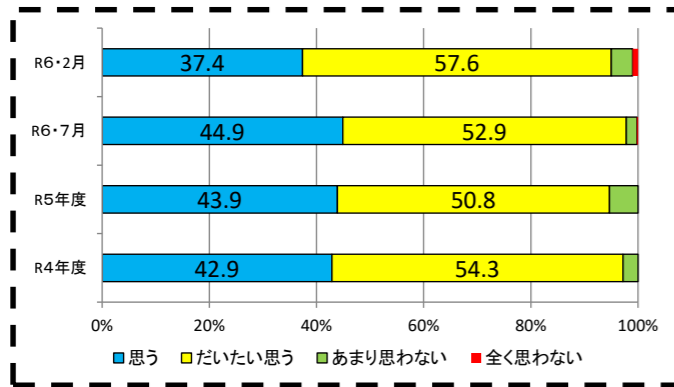


児童 14 地震や火事がおきたときにどうするかを知っている

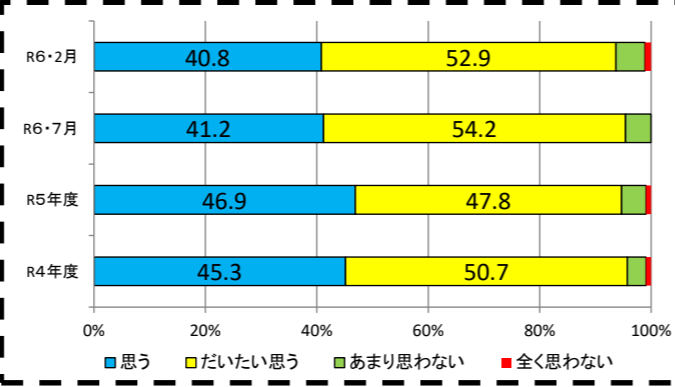


指標「子どもをよく理解している」などについて

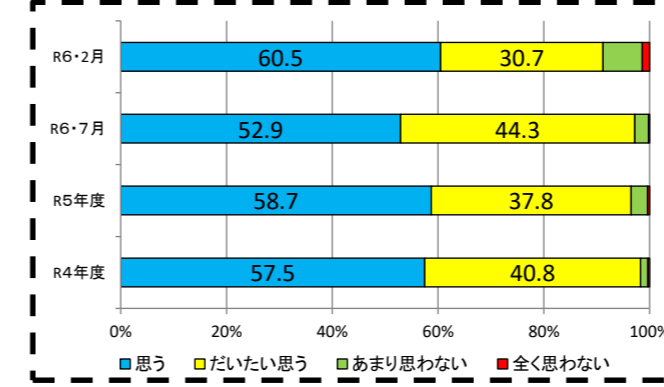
保護者 2 学校は活動の様子を分かりやすく伝えている



保護者 7 教職員は子どものよい点や努力したところを評価している



保護者 11 教職員は子どもをよく理解している



保護者 12 教職員は挨拶や言葉遣い、服装が適切である

